

【講義名】2026 年度 構造デザイン実践論 Structural Design Practice

【担当教員】寺澤友貴 Yuki TERAZAWA (内線 Tel. 5358), 岡山俊介(非常勤講師), 木村征也(非常勤講師), 田中初太郎(非常勤講師)

【開講時期・曜日・講義室】3-4Q, 木 1-2 限 (Mon. 1-2), 大岡山西 5 号館 W5-104

【コース名】UDE.S422 (都市・環境学コース), ARC.S421 (建築学コース) 【単位数】2

【講義のねらい】

意匠・構造に関わらず建築の設計においては構造デザイン（構造計画）が重要である。構造デザインは、普遍的な構造技術を前提とするとともにそれぞれの建築の個別性にも対応し、要求される諸条件に対してバランスを考えることが必要であり、いわば普遍性と個別性を兼ね備えたものである。本講義では、構造設計事例をそのプロセスを含めて紹介を行い、構造計画の原理について学ぶ。

本講義のねらいは構造デザインを実践的に習得することであり、所属組織の異なる3名の構造設計者を講師として構造設計事例を学びそれらを通じて構造デザインの原理を理解することである。講義内容の理解を確認のためレポート作成を行う。

【到達目標】

本講義を履修することによって以下の能力を習得する。

- 1) 建築デザインと構造デザインの関係を考え、建築の構造設計方針を立てることができるようになる
- 2) 構造力学、材料力学、振動学などと構造設計の関係が理解でき、技術的判断を行う基礎が身につく

【授業計画・課題】

日程	クール	内容
第 01 回(10/1)	第 1 クール (ビル・免震・制振)	履修案内、プロジェクト紹介（構造アトリエ）
第 02 回(10/8)		プロジェクト紹介（ゼネコン）
第 03 回(10/22)		プロジェクト紹介（組織設計）
第 04 回(10/29)	第 2 クール (空間構造・ファサード)	プロジェクト紹介（構造アトリエ）、中間課題のテーマ告知
第 05 回(11/5)		プロジェクト紹介（ゼネコン）
第 06 回(11/12)		プロジェクト紹介（組織設計）
第 07 回(11/26) ※3Q 補講日	第 3 クール 中間課題のプレゼンテーションおよび講評会 ※課題提出は 11/22（日）23：59 まで	
第 08 回(12/3)	第 4 クール (木質構造・建築家との協業)	プロジェクト紹介（構造アトリエ）
第 09 回(12/10)		プロジェクト紹介（ゼネコン）
第 10 回(12/17)		プロジェクト紹介（組織設計）
第 11 回(12/24)	第 5 クール (リノベーション・その他)	プロジェクト紹介（構造アトリエ）
第 12 回(1/7)		プロジェクト紹介（ゼネコン）
第 13 回(1/21)		プロジェクト紹介（組織設計）、期末課題のテーマ告知
第 14 回(1/28)		

【授業時間外学修（予習・復習等）】

学修効果を上げるため、教科書や配布資料等の該当箇所を参照し、「毎授業」授業内容に関する予習と復習（課題含む）をそれぞれ概ね 30 分を目安に行うこと。

【教科書・参考書】

特になし

【成績評価の基準及び方法】

課題提出・発表にて評価する。

【関連する科目】

- ・ ARC.S301 : 建築構造設計第一（学部講義）
- ・ ARC.S302 : 建築構造設計第二（学部講義）
- ・ ARC.S303 : 建築構造設計第三（学部講義）
- ・ UDE.S461(ARC.S421) : 応用構造設計特論

【履修の条件(知識・技能・履修済科目等)】

日本語を理解すること